

施設名	Ki-Yan Stuzio (祇園本店)
分類	ショップ事業、アーティスト(キーヤンこと木村英輝氏)のアトリエ運営、関連商品の販売
住所	京都市東山区祇園町北側296
連絡先	・ 祇園本店TEL : 075-746-3777 ・ Website : http://www.ki-yan-stuzio.com/
現在の客層	ショップ：主に国内観光客。外国人も多数。
施設情報	・ 1F：木村氏の絵をモチーフにした商品販売 ・ 2F：木村氏のアトリエ
研究会ねらい	木村氏本人について、また彼の絵(モチーフ)について知る。 彼の想いやバックグラウンドが絵にどのように投影されているのか。 また、彼の絵が京都を起点として広がっていることについて、その背景を知る。
研究会内容	<p><参加人数> 8名(宿泊施設営業担当、コンシェルジュ、伝統産業事業者、銀行融資担当者 ほか)</p> <p><事業概要> 木村氏は幼少のころから絵を描くのが得意で大学ではデザインを学ぶ。その後野外イベント、ロックイベントのプロデューサーを経て、2000年頃から壁に絵を書くようになる。現在のKi-Yan Stuzioが彼の制作活動をサポート。最初は知り合いに頼まれて描いていたが、どんどん知られるようになり、今では京都を中心に国内外100箇所以上に彼の絵が広がっている。また現在の祇園本店は2013年夏にオープン。彼の絵をモチーフにした商品と、地域の伝統産業事業者が作る商品とがコラボした、新しいブランドグッズを生み出した。壁いっぱい広がる氏の壁絵は見る人に元気を与える。氏のグッズ展開は、その気持ちを日常の空間でいつもみんなが感じてほしいという願いから出発している。</p> <p><海外への取組み> まだ始まったばかりとのこと。しかしショップには連日外国人が多数やってきておりスタッフも対応可能。また氏の商品を海外に展開する試みも始まっている。</p> <p><その他> 氏の絵のエッセンス、モチーフ、芸術活動の視点からの解説、壁画の製作、多数の貴重なお話をビジネス視点からもご説明いただいた。</p> <p><意見交換> Q：海外からのニーズについてどのような印象をもっているか。 A：人数で多いのはアジア方面。中国団体などが八坂神社近くという立地から店舗へ入ってくる人が多い。中国の方は圧倒的に鯉の絵が好き。 絵のセンスなど、内容の理解やこだわりをみせるのは欧米系の方。 海外からの受注もくるようになる。アメリカ、イタリアなど。FITのお客さんを通訳ガイドが紹介してくれて繋がりができ、商談が成立したこともある。</p>
研究会様子	 <p>アトリエにて運営担当者様から事業の解説を頂く</p>  <p>和傘とのコラボレーション(限定品)</p>  <p>京都の伝統産業品とのコラボ商品が多数販売されている</p>  <p>ここにいるだけで元気が出てくるようなお店でした</p>